

# 意外な 当社製品を紹介します

本企画では、「この会社、こんなものも作っていたんだ！」  
主力製品とは異なる分野、用途で活躍する意外な製品を紹介します。

## JOHNAN 株式会社

所在地：京都府宇治市大久保町成手1番地28

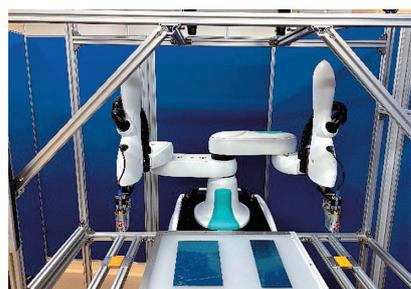
設立：1962年

資本金：9,500万円 従業員数：1,034名

主力製品：電子部品・機器、フィルム加工の開発・試作・製造、  
自動化・省力化機器・FAロボットの開発設計・製造  
医療機器・ヘルスケア関連機器の開発設計・製造など



ラベル自動貼付け装置



シート剥がし装置

創業以来50年以上にわたり、メカトロニクスの分野を中心に、自動化・省力化機器の開発設計・製造や医療機器・ヘルスケア機器の新商品開発支援から次世代機器の受託開発・受託製造まで手がけている同社。対象となる業界は、半導体、自動車、産業機器、医療機器、航空宇宙分野など、多岐に渡ります。高いウェイトを占めるFA機器事業では、加工・組立・検査・計測の自動化ライン、ロボット・搬送・カシメ等の電機ユニット、画像カメラを使用した検査装置、生産現場における作業効率の向上につながる治具の設計・開発を行っています。ものづくりにおける職人の技を守り育みながら、革新的なものづくりサービスを提供し続けています。

PickUp ▶▶▶

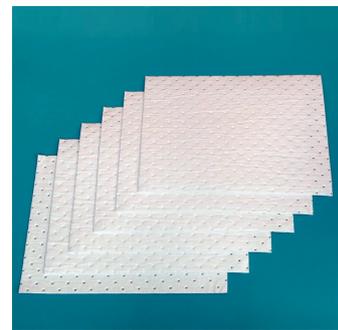
# 油吸収材 アブラトール



新聞古紙や天然鉱物を原料とした  
環境に配慮した素材で作られています

現在、およそ100種類の製品を取り揃えており、コストパフォーマンスに優れたものから付加価値の高い高品質なものまで、様々な用途で使用されています。最近では工場だけでなく、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、飲食チェーン店でも使用され、さらには工事現場やトラックなどに漏洩時の緊急対策用として常備されるなど、多方面から注目されています。

油吸収材は、主に工場（製造現場）で使用される副資材です。漏洩した油や溶剤の処理、床面の油の清掃、工具などに付着した油の清掃などが主な用途です。また、大規模水害時に流出した浮上油の回収にも活用されています。2018年に発生した、佐賀県の油流出事故でも使用されました。



## アブラトールを手がけようと考えられた背景を教えてください。

アブラトールは1994年に新規事業の一環として立ち上げたものです。何か新規事業はないものかと模索していた技術部門の担当者が、鉄と石など固い物質以外のものを粉末にする機械を開発しました。最初は昆布やコーヒー豆を粉末にして商品化を試みましたが、採算が合わずに失敗。次に、竹を綿状に粉砕して油の吸着に使うと効果がありました。しかし、多くの竹を伐採するには時間とコストがかかりますし貯蔵庫の問題もあります。そこで、新聞古紙を使ってみたところ諸問題が解決でき、製品化に至りました。アブラトールをはじめとする環境関連事業は弊社の中核事業の1つとなっています。



代表取締役社長兼CEO  
山本 光世 氏